

軍事極秘  
自昭和十九年七月一日  
至昭和十九年七月三十一日

# 陣中日誌

獨立混成第十五聯隊本部

昭和十九年七月一日

晴

一 作命第三號ニ基キ第一回輸送人員(聯隊本部 紅 紅 紅)  
中隊行軍ヲ以テ。三三三津田沼ニ集結。第二回輸送  
指揮官ノ指揮ヲ以テ。四一。同驛出發

下達命令

津田沼

一 各隊ハ三三三。輸送指揮官ノ指揮ニ入ルベシ

二 各隊ハ速ニ現在在實ヲ部隊副官ニ報告スベシ

三 來車ニ関シ必要ナル指示ハ係官ラシテ之ヲサシム

四 部隊ハ列車到着ト共ニ來船ヲ準備セントス

五 各隊ハ下車直後人員器材ヲ点檢シ異狀ヲ有スルヲ報告

スベシ

六 兵器 資材 卸下ニ関シテハ資材掛將校 森岡中尉ヲ

シテ指示セシム

七 依ッテ各隊ハ下士官十兵十。貨物車輛前ニ差出し森

岡中尉ノ指示ヲ受ルベシ

陸軍

四	同時予ハ第四車輪ニ等車前ニ在リ
五	各隊ハ命令受領有テ差出スベシ
阿司	一 聯隊ハ當分間門司ニ宿營待機スルベシ 来船期日ハ八九日頃ト予想スルモ別命ス 二 各隊ハ先發者及在郷輩入會ヲ誘導シヨホ宿營スベシ 三 舎警勤務員 日直將校 御子神中尉 各大隊ヨリ巡察將校トシテ將校一名 四 警急集合所ハ門司國民學校トス 五 空襲ニ際シテハ各隊毎ニ宿營地附近ニ於テ極力疎開ス 六 各大隊 各砲隊ハ檢便名簿ヲ明三十五日ハ。早テニ提出スベシ

軍



七	子ハ宿營間東楠町駒井方ニ在リ、電話番號ハ追テ示ス
八	ニ一。命令受領有テ本部ニ差出スベシ
	輸送指揮官 美田大佐

軍



小野寺中尉、指赤子山麓に本隊を駐せしむ。編成左に如し。

司令一 歩哨料二 歩哨八

服装 軍装ニシテ背囊 雜囊 水筒ヲ除ク

五 檢便ニ関シ左ノ通心得ヲベシ

ノ本部各中隊毎ニ一連番號ヲ附シル人右簿ヲ作製シ

明。八。部隊本部ニ差出スベシ

二 檢便場所 二号岩壁屋上

三日 時 二日到着者(先弁有ラ含ム)三日一。四日到着者

後發者ハ別命ス

各隊ハ聯隊本部ヨリ建制順序ニ軍人休憩所ニ一。マテ先任者ノ引率ヲ以テ集合シ松尾軍医中尉ノ指

示ヲ受ケバシ

軍

六 帶在間部隊号ヲ左ノ如ク守補ス

聯隊本部 ① 隊 第一大隊 ② 隊

第二大隊 ③ 隊 第三大隊 ④ 隊

聯隊砲中隊 ⑤ 隊 連射砲中隊 ⑥ 隊

工兵中隊 ⑦ 隊

七 輸送指揮官命令ノ三項日直將校御子神中尉トシテ

小野寺中尉ニ變更ス

八 資材監視、爲明三日一八。第二大隊ヨリ下士官一兵八ヲ

差出シ水野谷少尉ノ指示ヲ受ケシムベシ

服装 軍装ニシテ背囊 雜囊 水筒ヲ除ク

九 第一大隊ヨリ將校一名ヲ明三日一八。部隊本部ニ差出シ聯隊

副官ノ指示ヲ受ケシムベシ

十 湯本團ノ日探隊限ヲ左ノ如ク定ム

起未及日朝点呼

軍

陸軍部 陸軍大臣 陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍省

陸軍部 陸軍大臣 陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍省

陸軍部 陸軍大臣 陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍省

陸軍部 陸軍大臣 陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍省

陸軍部 陸軍大臣 陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍省

陸軍部 陸軍大臣 陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍省

陸軍部 陸軍大臣 陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍省

陸軍部 陸軍大臣 陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍省

陸軍部 陸軍大臣 陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍省

陸軍部 陸軍大臣 陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍省

陸軍部 陸軍大臣 陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍省

陸軍部 陸軍大臣 陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍省

陸軍部 陸軍大臣 陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍省

美田

陸軍

昭和九年七月三日

晴

一 部隊ハ急據新田原飛行場ニ前進空輸ヲ以テ沖繩北  
飛行場ニ轉進ヲ命ゼラル

二 柳主計大尉以下六名(習志野殘置人員ニ後發)主力ニ連  
及

三 部隊ハ獨混一五作命第三號ニ基キ

第一回 二一〇

第二回 〇一〇

夫々門司港發列車ニ便乘宮崎縣川南ニ向ヒ出發  
四 一九〇。習志野ヨリノ第二回輸送人員門司港ニ到着

獨混一五作命ニ基ク輸送計畫ニ從ヒ再轉進ノ準備ヲス

第一回 R I A T A P

第二回 II III

五 御子神中隊以下一九五名殘務整理ノ為門司ニ殘置ス

六 部隊ハ差當リ戰半ニ必要ナル兵器彈藥資材ヲ携行シ

残餘の資材の門可港残置シ御子神中尉ヲシテ區處セム

下達命令

別

獨混五作命第三號




獨混五作命第三號

獨立混成第五聯隊命令 七三三三 門司

一 聯隊ハ主力ヲ以テ今夜門司出發大分縣川南ニ轉進ヲ命ゼラル

二 各隊ハ後續部隊ヲ合セ別表如ク部隊ヲ編成スベシ

三 聯隊本部 第一大隊ハ二〇〇マデニ第二大隊ハ二〇〇マデニ 岩壁ホトホトニ集合シ人員塔載掛ハ指示依リ塔乗スベシ

四 第一大隊ハ四日二〇〇マデニ第二大隊岩壁ホトホトニ集合シロ一車ヲ發列車ニ塔乗スベシ

開

残余部隊門司迄殘置シ御子神中尉ヲシテ區處セシ

下達命令

別紙

獨混五作命第三號

美田

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

獨混五作命第三號

獨立混成第五聯隊命令 門 七三二三

一聯隊ハ主力ヲ以テ今夜門司出發大分縣川南ニ轉進ヲ命セラル

ニ各隊ハ後續部隊ヲ令セ別表如ク部隊ヲ編成スベシ

三聯隊本部 第一天隊ハ二〇〇マデニ第三號岩壁ホムニ集合シ人員塔載掛ハ指示依リ塔乘スベシ

四第一大隊ハ四日二〇〇マデニ第三號岩壁ホムニ集合シ一五〇マデ發列車ニ塔乘スベシ



シ

五 第三大隊在門司部隊ハ口口口迄ニ第二  
號岩壁ホ一合ニ到着シ第三大隊隊指揮  
下ニ入ルベシ  
第一二次輸送指揮官ハ西村大尉トス

六 聯隊砲速射砲工兵各中隊ハ門司  
到着後聯隊長ノ指揮下ニ入リ人員  
搭載掛ノ指示ヲ受ケニ口口口發ノ列車ニ  
塔乗スベシ  
火砲彈藥ハ全部携行スルモノトス

七 個人裝備、外通信機材、隊醫置扱全  
部予防接種液糧秣一週間介携行

八 先發者、主カハ御子神中尉ノ指揮  
ヲ以テ現任務ヲ整理シタル上船舶ヲ  
以テ本隊ニ進及スベシ

九 御子神中尉ハ殘置部隊ノ荷物ヲ掌領  
シ船舶司令部ニ連絡、上述カニ本隊ニ  
進及スベシ

十 森林田中尉ハ後續部隊ノ荷物搭載ニ  
任ズベシ

十一 園田少尉ハ各大隊ヨリ差込スベキ下士官  
三ヲ引率シ大分縣川南ニ先進シ第一  
一六部隊ニ到リ重打到着ヲ準備ス

十三 各大隊ヨリ下士官一直ニ聯隊本部ノ位  
地ニ差立出スベシ

十五 余八二四ノ號ニ號ニ差立出スベシ  
第一ノ願期ニ依リ前進ス

獨長派成第一五聯隊長

美田大佐

下達法

既布先各隊

要旨ヲ傳ヘ  
后州刷交付

陸軍

昭和九年七月四日

晴

宮崎縣兒湯郡

佐土原

美田

一。第一回輸送人員三納代驛着

(川南驛ニ於テ三納代驛マテ延進ノ指示ヲ受ケ)

二。憲兵隊新田原飛行場ト連絡直ニ佐渡原町、富田村

上富田村一帯ニ亘リ設營準備

三。第二回輸送人員異常ナク到着

四。第一回。異常ナク配宿ヲ完了

五。聯隊本部佐土原町鈴木洋品店

昭和九年七月五日	晴	一部隊長 岡澤大尉 北村中尉 杉浦中尉 終日能行
昭和九年七月五日	晴	場戦斗指令所ニ在リ
昭和九年七月五日	晴	二部隊一般ニ空輸スベキ相包ノ整理ヲ受ク
昭和九年七月五日	晴	第三十二軍命令
昭和九年七月五日	晴	一第九師團司令部及獨立混成第十五聯隊ノ主力ハ七月六日ヨリ約十日間ニ亘リ那霸ニ空輸セラル
昭和九年七月五日	晴	二要塞建築勤務第七中隊ハ一部ヲ以テ第九師團司令部空輸部隊ノ宿營ニ協カスベシ
昭和九年七月五日	晴	三軍兵器部長ハ六日自動貨車ニ乘用車一輛ヲ那霸飛行場ニ差出シ第九師團司令部ノ使用ニ供セシムベシ
昭和九年七月五日	晴	四軍經理部長ハ第一項諸隊ノ糧秣其ノ他金貨需用不足諸品ノ交付ニ任ズベシ
昭和九年七月五日	晴	五細部ノ關係部隊相互協議スベシ

東京小澤部

昭和九年七月五日	晴	一部隊長 岡澤大尉 北村中尉 杉浦中尉 終日能行
昭和九年七月五日	晴	場戦斗指令所ニ在リ
昭和九年七月五日	晴	二部隊一般ニ空輸スベキ相包ノ整理ヲ受ク
昭和九年七月五日	晴	第三十二軍命令
昭和九年七月五日	晴	一第九師團司令部及獨立混成第十五聯隊ノ主力ハ七月六日ヨリ約十日間ニ亘リ那霸ニ空輸セラル
昭和九年七月五日	晴	二要塞建築勤務第七中隊ハ一部ヲ以テ第九師團司令部空輸部隊ノ宿營ニ協カスベシ
昭和九年七月五日	晴	三軍兵器部長ハ六日自動貨車ニ乘用車一輛ヲ那霸飛行場ニ差出シ第九師團司令部ノ使用ニ供セシムベシ
昭和九年七月五日	晴	四軍經理部長ハ第一項諸隊ノ糧秣其ノ他金貨需用不足諸品ノ交付ニ任ズベシ
昭和九年七月五日	晴	五細部ノ關係部隊相互協議スベシ

軍司令官 渡邊 正夫

球作命甲第十三號

下達法 要旨口達後印刷兼付 五八

配布區分 陸軍司令部 陸軍航空隊 陸軍航空輸送部 陸軍航空隊司令部 陸軍航空隊司令部

第三十三軍命令

獨立混成第十五聯隊、沖繩本島到着と共に編成、  
四旅團長ノ指揮下に入ル

軍司令部 陸軍司令部 陸軍航空隊司令部

下達法 電話 電報 印刷交付

配布區分 陸軍司令部 陸軍航空隊司令部 陸軍航空輸送部 陸軍航空隊司令部

西部軍

第三十三軍命令

球作命乙第十號

陸軍航空輸送部ハ七月六日ヨリ約五十機ヲ以テ獨立混成  
第十五聯隊ノ主力ヲ沖繩北飛行場ニ空輸ス

第二十九航空地運司令部ハ現任務ヲ續行スルト共ニ一部ヲ  
以テ沖繩北飛行場ニ於テ陸軍航空輸送部地上勤務

陸軍

ヲ援助セシムベシ

軍司令部 渡邊 正夫

下達法 要旨口達後印刷交付

配布先 17FB 1513

報告(通報)先 西部軍(航空輸送部)

略

陸軍輸作命甲第

五〇一號

下達命令 別紙

獨立混成命第四號





四輸送機ノ給與ニ関シテハ一食分ヲ携行スルモノトス  
 五余ハ七月五日一五〇〇新田原飛行場發空輸ニ及  
 少那爾二前進ス

獨立混成第一五聯隊長 美田大佐

下達命令 命令受領者ニ口達筆記 後印刷配布

陸軍

昭和九年七月六日

晴

沖繩縣中頭郡

嘉手納

一。六。三。藤本少尉以下二七名第一回輸送機ニ搭乗出  
 發引續キ陸軍航空輸送部ニ依リ部隊ノ沖繩ヘノ前  
 進空輸ヲ開始ス

二。部隊長石井少尉 高級主計 高級軍医 兵器掛將校  
 以下一八名一四。〇。離陸

三。一六。〇。部隊長以下北飛行場ニ安着

四。球作命甲第三二軍命令ニ依リ部隊ハ獨立混成第四四  
 旅團長ノ指揮下ニ入ル

五。嘉手納農林學子校ニ聯隊本部ヲ開設

六。旅團長來隊

下達命令

別紙

獨立作命第五號





ニ依ルベシ

五、予八縣立農業學校ニ在リ

獨立混成第一五聯隊長 美田大佐

下違法 命令受領者ニ口達筆記セシタル後印刷交付

報告先 獨立混成第四旅團

陸軍

昭和九年七月七日

晴

喜手納

受領

沖作命甲第二號

一部隊の引續き空輸機を北飛行場に着陸せしめ、遂に農林國學校ニ杖登

沖繩守備隊命令直轄隊員一隊首尾に属す

獨立歩兵第十五聯隊沖繩到着し、其會同に指揮に属す

又獨立混成第四旅團の一部は本島に到着せり

二聯隊隊末着新隊ヲ以テ守備ヲ増強セントス

三地區上區分ヲ左ノ如ク定ムルニ決シテ、其後ニ隊員を再編シ

直轄地區 津堅島北端 神山南端 在壽崎線  
中嶺地區 伊計島北端 城原 熱田線  
國頭地區 古宇利島西端 乙再岳 八重岳  
伊弉島地區 部間原線



線上(南西)方地區ニ含ム

四 中頭地區隊ハ主力ヲ嘉手納附近各一部ヲ具志川及伊波附近ニ配備シ金武湾口及西海岸ヲ警戒スルト各一部隊ヲ金武恩納及普天間ニ出シテ隣接各地區トノ交通ヲ確保スヘシ

勝運半島陸軍脚部、伊波東西ノ線特ニ飛行場附近ニハ堅固ノ陣地ヲ設備スルヲ要ス。計略ニシテ、工兵中隊ハ所要ニ應ジ旅團長之ヲ直轄使用ス

狀況查ニ己ハラ得サルモ北飛行場ヲ確保スヘシ  
五 衝動地區隊ハ主力ヲ林以テ保護ニ位置シ同地附近ニ確保スルト共ニ主有ラ旅團長ヲ直轄使用ニ意ヲ得ルノ準備ニ在ルヘシ

將校ヲ指揮スル各小部隊ヲ以テ久志川田奥塩屋及仲糸根附近ニ配備シ沿岸ヲ警戒スルト共ニ敵ノ侵

軍

陸ニ際シテハ主トシテ地形ノ利用ニ依リ其ノ進入ヲ阻止セシム  
又隣接地區ト、交通ヲ確保スヘシ

六 伊江島地區隊ハ伊江島ヲ守備スヘシ  
一部ヲ渡久地ニ配備シ本島トノ交通ヲ確保スヘシ

七 無線班ハ伊江島ト本島間及旅團司令部間ヲ連絡スヘシ

軍通信ノ整備セラルル迄各隊ハ取アヘス地方通信(警戒線)一途信(鉄道ノ順)ヲ利用スヘシ  
但シ防禦上ノ注意ヲ要ス

八 各部隊ハ自隊ノ外現ニ築城シアル地方官民ヲシテ速ニ地下設備ヲ増強シ嚴ニ空襲及艦砲撃ニ對スル人員兵器及重要資材ノ掩護ヲ確實ヲラシムベシ  
九 直轄地區ヨリ他地區ニ轉位時機ニ関シテハ別命ス

可敷關司令所ヲ嘉手軒及名護ニ開設ス  
予ハ警々首里ニ在リ

守備隊長 鈴木少將

下達法 中頭 國頭両隊長ニ直接電音口達後

印刷配布

配賦先 43 12 21 75A 223 224 225

報章(通報)先 22A 7D 航空司 4A 軍通 兵動 砲台

海軍航空隊 沖憲

沖作命申第一號別紙

軍隊區分

中頭地區隊

長 獨立歩兵第十五聯隊長 美田大佐

獨立歩兵第十五聯隊(第1大隊) 聯隊砲一小隊及無線班

陸軍

陸軍

特設警備歩兵第二四中隊

國頭地區隊

長 第二歩兵隊長 宇土大佐

獨立混成第四十四旅團(一部)(空欠)

特設警備歩兵第二五中隊

伊江島地區隊

長 獨立歩兵第十五聯隊第三大隊 西村大尉

獨立歩兵第十五聯隊第三大隊

獨立歩兵第十五聯隊聯隊砲一小隊

直轄部隊

特設警備歩兵第二三中隊

獨立歩兵第十五聯隊無線班

重砲兵第七聯隊



陸軍

一、〇二四空襲警報發令  
 〇二〇警報解除  
 二、聯隊本部 聯隊砲 連射砲 工兵各中隊 古堅國民學校  
 校ニ移駐  
 七日 西村中尉  
 八日 山寺中尉  
 九日 杉浦中尉  
 日直士官頭書ノ通服務スヘシ  
 二、八日 第五中隊  
 衛兵右、如ク差出シ服務セシムヘシ  
 三八中隊 九中隊ヨリ各兵三名一五〇〇炊事場ニ差出シ  
 炊事部下士官、指示ヲ受ケシムヘシ

陸軍

陸軍

昭和十九年七月八日

晴

沖繩縣中頭郡北谷村

古堅

下達命令

獨立混成第一五聯隊

一、〇二四空襲警報發令  
 〇二〇警報解除  
 二、聯隊本部 聯隊砲 連射砲 工兵各中隊 古堅國民學校  
 校ニ移駐  
 七日 西村中尉  
 八日 山寺中尉  
 九日 杉浦中尉  
 日直士官頭書ノ通服務スヘシ  
 二、八日 第五中隊  
 衛兵右、如ク差出シ服務セシムヘシ  
 三八中隊 九中隊ヨリ各兵三名一五〇〇炊事場ニ差出シ  
 炊事部下士官、指示ヲ受ケシムヘシ

美田

獨立混成第一五聯隊  
 七日 西村中尉  
 八日 山寺中尉  
 九日 杉浦中尉  
 日直士官頭書ノ通服務スヘシ  
 二、八日 第五中隊  
 衛兵右、如ク差出シ服務セシムヘシ  
 三八中隊 九中隊ヨリ各兵三名一五〇〇炊事場ニ差出シ  
 炊事部下士官、指示ヲ受ケシムヘシ

昭和九年七月九日

一 部隊長那霸師出張

二 柳主計大尉石井少尉隨行

三 旅團司令部より片山中尉來隊

沖繩守備隊命令

別紙計畫ニ基キ築城設備集合教育ヲ實施ス

專習員ハ夫々所定ノ日時場所ニ於テ專習スシ

三 教官ヲ教育終了後速カニ教育成果ノ概要ヲ提出スシ

沖繩守備隊長 鈴木少將

下達命令

要旨電話後印刷命令交付

配布先 隷指揮下各隊

報告通報(先)

2A 197FB 50ab

印刷紙

五聯隊日日命令

陸軍

昭和九年七月九日

一 部隊長那霸師出張

二 柳主計大尉石井少尉隨行

三 旅團司令部より片山中尉來隊

沖繩守備隊命令

別紙計畫ニ基キ築城設備集合教育ヲ實施ス

專習員ハ夫々所定ノ日時場所ニ於テ專習スシ

三 教官ヲ教育終了後速カニ教育成果ノ概要ヲ提出スシ

沖繩守備隊長 鈴木少將

下達命令

要旨電話後印刷命令交付

配布先 隷指揮下各隊

報告通報(先)

2A 197FB 50ab

印刷紙

五聯隊日日命令

陸軍

第一聯隊司令部

一 九日 聯隊砲中隊

第二聯隊司令部

一 衛兵如ク服務スベシ  
二 日直司令  
三 杉浦中尉

第三聯隊司令部

一 日直勤務  
二 日課時限  
三 日直勤務  
四 日課時限  
五 日直勤務  
六 日課時限  
七 日直勤務  
八 日課時限

第四聯隊司令部

一 日直勤務  
二 日課時限  
三 日直勤務  
四 日課時限  
五 日直勤務  
六 日課時限  
七 日直勤務  
八 日課時限

第五聯隊司令部

一 日直勤務  
二 日課時限  
三 日直勤務  
四 日課時限  
五 日直勤務  
六 日課時限  
七 日直勤務  
八 日課時限

第六聯隊司令部

一 日直勤務  
二 日課時限  
三 日直勤務  
四 日課時限  
五 日直勤務  
六 日課時限  
七 日直勤務  
八 日課時限

第七聯隊司令部

一 日直勤務  
二 日課時限  
三 日直勤務  
四 日課時限  
五 日直勤務  
六 日課時限  
七 日直勤務  
八 日課時限

第八聯隊司令部

一 日直勤務  
二 日課時限  
三 日直勤務  
四 日課時限  
五 日直勤務  
六 日課時限  
七 日直勤務  
八 日課時限

第九聯隊司令部

一 日直勤務  
二 日課時限  
三 日直勤務  
四 日課時限  
五 日直勤務  
六 日課時限  
七 日直勤務  
八 日課時限

獨混五作命第六號

獨立混成第一五聯隊命令

七、九、一九

- 一 沖繩守備隊ハ兼着部隊ヲ以テ守備ヲ増強ス
- 二 國頭地區隊ハ伊計島北端—城原—熱田原以北ノ地區ヲ伊江島地區隊ハ伊江島ヲ旅團直轄部隊ハ津堅島北端—神山南端—空崎以北ノ地區ヲ夫々守備ス

- 二 聯隊(第三大) 聯砲小、無線欠ハ特設歩兵第三四中隊ヲ併セ指揮シ中頭地區隊トナリ津堅島北端—城原—熱田原ノ線(之ヲ含テ)以南ノ地區ヲ守備シ金武灣口及西海岸ヲ警戒スルト共ニ勝連半島基脚部伊波東西ノ線特ニ飛行場附近ニ堅固ニ陣地ヲ構築セン事
- 三 第二天(第三隊及MG一分隊)特設警備歩兵第三四中隊(小隊ヲ編ス)

三 第二天(第三隊及MG一分隊)特設警備歩兵第三四中隊(小隊ヲ編ス)



東京小隊

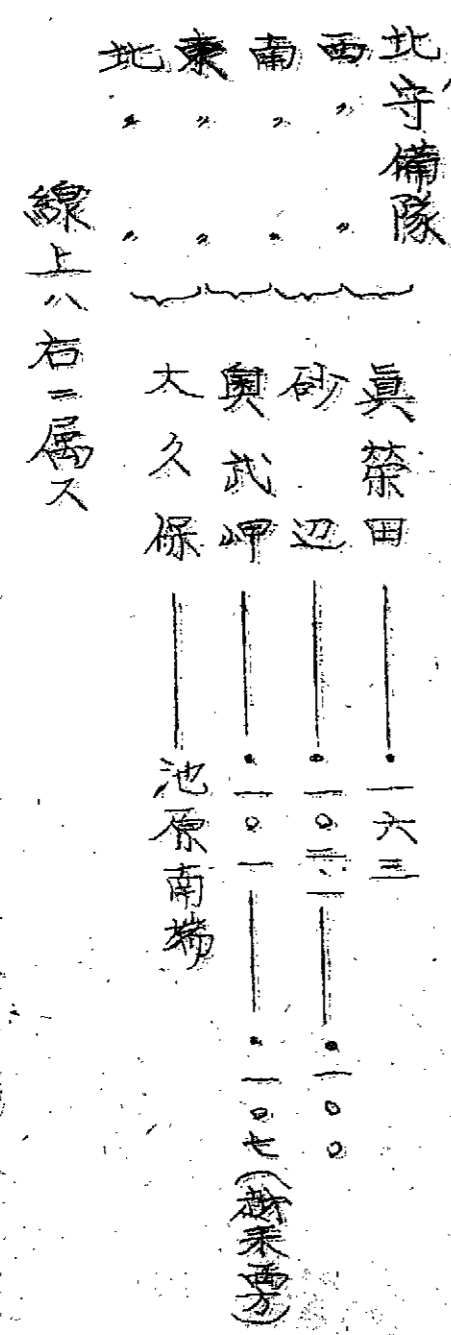
北守備隊トナリ一部ヲ恩納及金武村附近ニ派遣シ西海岸及金武  
 湾口ヲ警戒スルト共ニ主力ハ金武湾及西方海岸ヨリ上陸スル敵並ニ  
 石川岳附近ノ半島ヨリ突進スル敵ニ對シ東恩納伊波北端附近  
 ニ堅固ニ陣地ヲ構築スヘシ  
 金武湾西岸仲泊附近ノ海岸ニハ監視兵ヲ以テ直接警備セシムベシ

四 第三大隊(第五中隊ノ小隊欠)ハ西守備隊トナリ一部ヲ渡慶次附近ニ  
 派遣シ該半島ノ警備ニ任ゼシメ主力ハ北海岸及西海岸ヨリ上陸  
 スル敵ニ對シ座喜味附近ヨリ伊良皆ニ亘ル間ニ堅固ニ陣地ヲ構築シ  
 尚一據点ヲ嘉手納附近ニ構築スヘシ  
 國吉屋敷都屋及渡具知附近ニハ監視兵ヲ配置スルト共ニ波平西方  
 楚辺附近ハ擬陣地トシテ稍堅固ニ陣地ヲ構築スベシ

五 第五中隊ノ小隊ハ南守備隊トナリ普天間東北方附近ニ位置シ南  
 方地區トノ交通ヲ確保スルト共ニ一部ヲ以テ久場西方高地及普天

間北方高地附近ニ監視哨ヲ配置シ夫々ノ方面ノ海上ヲ警戒セシムベシ  
 六 第三中隊(四一分隊屬ス)ハ東守備隊トナリ勝連半島ニ上陸スル敵  
 ニ對シ具志川、仲塩屋附近ニ堅固ニ陣地ヲ構築スルト共ニ各一部  
 ヲ平屋敷南端江洲南方△一〇九附近ニ派遣シ警戒セシムベシ

七 各守備隊ノ戰鬥地域ノ境界左ノ如シ



八 速射砲隊長ハ北守備隊ノ多ク伊波南端附近ニ西守備隊ノ多ク  
 座喜味伊良皆附近各々四門分ノ陣地東守備隊ノ多ク大田附近

二門分ノ陣地ヲ構築スヘシ

九聯隊砲隊長ハ各守備隊ノ戰鬥ニ協同スル爲左ノ如ク陣地ヲ構築スヘシ

イ 北守備隊

山城、嘉手納附近ニ四門分

ロ 西、

座喜味、伊良皆附近各四門分

ハ 東、

入田附近ニ二門分

十工兵隊ハ比謝(吉堅北方)ニ一據点ヲ構成シタル後第二天隊、實施スル座喜味附近ノ據点構築ニ協力スヘシ

尚明十日ヨリ工兵一分隊ヲ特設警備歩兵第三四中隊、實施スル工事ヲ指導セシムヘシ

十一特設警備歩兵第三四中隊ハ現任務ヲ續行スルト共ニ在嘉手納部

隊ヲ以テ嘉手納附近ニ一據点ヲ構築スヘシ

陣地ノ細部ハ現場ニ於テ指示ス

工兵一分隊ヲ配属ス

十二通信班長ハ無線班ノ一部ヲ旅團通信隊長ニ配属スルト共ニ六号無線ヲ各大隊ニ配属シ残余無線並ニ有線ヲ以テ北及西守備隊ト聯隊本部ノ間ニ通信網ヲ構成スヘシ

爾余ノ各守備隊ノ連絡ハ地方通信(警察通信、鉄道、順)ヲ利用スヘシ防諜ニハ特ニ注意スル要ス

十三各隊ハ極力地方官民ヲ使役シ速ニ地下設備ヲ構築シテ空砲爆薬ニ對シ人員兵器資材ノ掩護ヲ確實ナラシムヘシ

十四中頭地區隊ノタメ、一六三附近ニ構築スベキ複廓陣地ニ関シテハ命令ス

十五予ハ舊古堅國民學校ニ在リ

獨立混成第一五聯隊長 美田大佐

下達法 印刷交付

配布先 各隊  
報告通報先

第2歩兵隊

陸軍

昭和九年七月十日	<p>一 〇。〇。第三大隊 沖作命甲第一號別紙軍隊區分書          伊江島地區隊トシテ旅團直轄トアリ山出發</p>
古 堅	<p>二 一八。〇。田澤大尉 部隊副官着隊 陸輸ニヨル人員          資材ハ異狀ナク到着セリ</p>
下 達 命 令	<p>三 部隊ハ一般ニ戰鬥準備ニ專念ス          獨立混成第一五聯隊日日命令 古 七 一 堅。</p>
獨混五日命第三號	<p>一 本職七月九日那霸市ニ出張ス          陸軍主計大尉 柳 素 雄</p>
	<p>二 陸軍 少尉 石井 英 久</p>
	<p>三 本職ニ隨行ヲ命ス          古川 中尉</p>
	<p>十一日 北村 中尉          十二日 杉浦 中尉</p>
	<p>(以下繰返ス)</p>



日直司令石ノ如ク服務ス	四	十日	速射砲中隊
		十日	工兵中隊
		十日	聯隊砲中隊
		十三日	工兵中隊
(以下繰返ス)			
衛兵右ノ如ク差出シ服務セシム	五		陸軍主計大尉 柳素雄
			同 中尉 高木賢三郎
			陸軍伍長 廣井忠夫
右宿營施設業務打合せヲ爲シ七月七日那霸市ニ出張ヲ命ズ(即日帰隊)	六		陸軍主計大尉 柳素雄
事務連絡ノ夕ノ七月十日軍經理部へ出張ヲ命ズ			

東京小澤

陸軍

翌九年七月上日	一。六。。	獨混一五作命第六號ニ基キ第一、第二大隊夫々
晴	處命ノ抵抗陣地へ進發	
古	堅	二工兵、聯隊砲、速射砲各中隊陣地構築開始
		三通信班ハ第二大隊ト有線連絡完了
		一般遞信電話ニ加入完成
		四特設警備第三四中隊長末隊部隊長ニ申告
受領	獨混留杯作命第一號	一中部入平洋方面ヨリスル狀南西諸島ニ對スル敵進攻ノ公算
		ハ逐日増大シツアリ
		軍ハ一部ヲ以テ伊江島本部半島ヲ確保スルト共ニ主カラ
		以テ沖繩本島南半部ニ陣地ヲ占領シ海空軍ト協同シテ
		極力敵戦力ノ消耗ヲ図リ機ヲ見テ主力ヲ機動集結シテ攻
		勢ニ転シ敵ヲ沖繩本島南半部ニ喪滅ス
		第九師團ハ島尻郡ノ確保ニ任ス

七一八〇里

二旅團(770/505属)ハ沖炸命甲第一二號ニ示セル中頭地區以北ノ守備ニ任セントス  
 第九師團トノ防衛担任區域ノ境界ハ津堅 當間  
 神山 大山 栗園島ヲ連ヌル線トシ線ハ第九師團ニ属ス  
 三各地區隊ハ前任務ヲ續行スヘシ特ニ國頭沿岸地帯ニ陣地ヲ構築シ敵ノ欺瞞ニ努ムルヲ要ス  
 四國頭地區隊ハ主トシテ機動ニ依リ其ノ任務ヲ達成スルト夫ニ特ニ本島南半部ノ作戦ヲ容易ナラシムヘシ  
 五獨立速射砲第七大隊ハ一中隊ヲ伊江島地區隊ニ配属シ主力ハ嘉手納ニ位置スヘシ  
 六假編獨立砲兵第百大隊ノ一小隊ハ嘉手納ニ位置シ其ノ陣地ヲ同地飛行場附近 金武村及本部村附近ニ準備スヘシ

陸軍

七各地區隊長 獨立高射砲第七大隊及第三五飛行團ノ行ヲ防空ノ外防衛ニ関シ其ノ担任地域内ニ在ル軍直轄及區署部隊ヲ區署スルコトヲ得  
 八予ハ嘉手納ニ在リ  
 旅團長 鈴木少將  
 下達法 印刷交付  
 配賦先 22A 448B 912 1515 277A 1515 257B 277A 172B 770 545 100 545  
 報告通報先  
 獨立混成第一五聯隊日日命令  
 陸軍伍長 小澤 英  
 部隊本部炊事係下士官ヲ命ズ  
 九 十一日 速射砲中隊  
 十五日 五翼中隊  
 十五日 聯隊砲中隊

下達命令  
 獨立一五聯隊  
 第三號拔萃

十四日 無名中隊

十五日 速射砲中隊

(速射砲三發下線返ス)

衛兵右、如名、若山、服部等セタケシ

美田

...

...

...

...

...

...

...

...

...

東取小澤

陸軍

昭和九年七月十二日

晴

古

一、二、。部隊長岡澤大尉、杉浦中尉、北村中尉、  
帶同第三大隊陣地構築狀況視察  
二、一八。岡澤大尉以下五名築城教育出席、為軍司  
令部へ出張(一六日帰隊、豫定)

受領

獨立混成第四旅團命令

一、帝國在郷軍人會沖繩支部ハ其ノ管内ニ防衛隊ヲ編成  
セリ

二、旅團ハ作戰ニ當リ之ヲ指揮セントス

三、各地區隊長ハ担任區域内ニ在ル防衛隊ノ裝備訓練ヲ

指導援助スルト共ニ作戰ニ關シテハ獨立セル任務ヲ其ヘ

又ハ軍隊ノ作戰行動ヲ援助セシムヘシ

情況ニ依リ之ヲ指揮スルコトヲ得

旅團長 鈴木少將

下達法 印刷交付

配賦先	446/15	15/15	7/15/15	7/15/15	7/15/15	7/15/15	7/15/15	7/15/15	7/15/15
報告通報先	32A	9D	沖聯						
下達命令	獨立混成第五聯隊日日命令								七、一、二 古聖
獨立混成第五日命	二 陸軍伍長 高橋 宣之								
第五號拔萃	部隊本部勤務炊事掛下士官ヲ命ス(十二日附)								
	四明一三日。八。ヨリコレヲ「第二回」防接種ヲ實施ス								
	依ツテ左ノ通心得ルベシ								
	一 接種順序 既 A T A P								
	一 場所 医務室								
	五 陸軍兵長 西川 博以下三名								
	第三大隊へ配屬ヲ命ス(七月九日附)								
(美田)									

陸軍

昭和十九年七月五日	一部隊長 杉浦中尉以下ヲ帶同終日陣地構築状況ヲ視察								
古聖 堅	二一五。旅團司令部高級副官來隊								
下達命令	獨立混成第一五聯隊日日命令								古聖 堅
獨立混成第一六號	一 旅團司令部ハ七月十三日一二。左記ハ移轉ス								
	左記								
	中頭 郎 嘉手納農林學校(電話嘉手納一〇番)								
	二 陸軍大尉 岡澤 實								
	同 中尉 北村 公								
	同 軍曹 嶺 藤夫								
	同 伍長 坂口 正雄								
	同 北濱 勢								
	自七月十三日至七月十六日、間軍ニ於テ實施セラルル接種令教育ニ出席ヲ命ス								

依ッテ岡澤大尉ヲ引率ヲ以テ十日。八時。以下略

美田

美田

Vertical columns of handwritten Japanese text, likely a report or log, containing various names and dates.

東京小隊

陸軍

第九年七月十四日

晴

古堅

- 一。八。〇。部隊長 杉浦中尉 古川中尉ヲ帶同
- 第一大隊陣地構築狀況視察、爲伊波方面へ出張スルモ自動車不調ヨリ八。三。歸隊ス
- 二。九。〇。第一九航空地區司令官青柳中佐來隊
- 三。同時旅團高級副官内田少佐來隊
- 四。七。〇。部隊副官那霸ニ出張ス
- 五。一六。〇。部隊長石井少尉ヲ帶同工兵中隊陣地構築狀況視察

別紙

下達命令

獨立作命第七號

美田

美田

Vertical columns of handwritten Japanese text, likely a report or log, containing various names and dates.

獨浪二五作命第七號  
 中頭地也隊命令  
 一 中頭地也隊ハ昔天間附近守備ヲ他ニ移  
 二 南地也隊ハ七月一四日現既備ヲ撤シ明ニ五日  
 朝食後現地本發原所屋ニ復歸スベシ  
 三 歸還ニ対スル人員材料ノ輸送ニ関シテハ  
 高級主計指示スベシ  
 四 予ハ古堅國民學校ニ在リ  
 中頭地也隊長 美田大佐

東京小隊納

獨浪二五作命第七號

中頭地也隊命令

七五二四  
 取付

一 中頭地也隊ハ昔天間附近守備ヲ他ニ移

讓セントス

二 南地也隊ハ七月一四日現既備ヲ撤シ明ニ五日

朝食後現地本發原所屋ニ復歸スベシ

三 歸還ニ対スル人員材料ノ輸送ニ関シテハ

高級主計指示スベシ

四 予ハ古堅國民學校ニ在リ

中頭地也隊長 美田大佐

下達法 要旨ヲ傳ハ後印刷交付  
報告通報先  
4496s  
9D  
254

陸軍

昭和七年七月十五 一部隊長 杉浦中尉 石井少尉ヲ帶同第一大隊及具

晴 志川方面ヲ視察

古 堅 二、部隊副官那霸ニ出張

下達命令 獨立混成第一五聯隊日日命令 古 一五

獨立五連第一三號 一、日直司令 日直副官

一五日 藤本中尉 澁谷曹長

一六日 杉浦中尉 岡田軍曹

一七日 北村中尉 石川曹長

一八日 岡澤大尉 堀江曹長

一九日 藤本中尉 市川軍曹

二〇日 杉浦中尉 岡田軍曹

二一日 北村中尉 石川曹長

二二日 岡澤大尉 村野軍曹

美田 日直右ノ如ク服務スベシ

以下略  
 一、部隊全般之陣地構築之專念  
 二、陣地構築之方針  
 三、陣地構築之準備  
 四、陣地構築之實施  
 五、陣地構築之檢査  
 六、陣地構築之修補  
 七、陣地構築之撤去  
 八、陣地構築之其他事項

陸軍

昭和十七年七月十六日

晴

古堅

下達命令別紙

獨混三作命第八號

獨混三作命第九號

美田



西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西	西
部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部
部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部
部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部
部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部
部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部
部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部
部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部
部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部

後混一五作印第八號

中頭地區隊命令

昭一六二二六二二〇  
台 堅



一中部太平洋方面ヨリスル我南西諸島ニ対スル敵進分  
公算ハ遂日増大シツ、アリ

軍ハ一部ヲ以テ伊江島、本部半島ヲ確保スルト共ニ主力  
ヲ以テ沖繩本島南半部ニ陣地ヲ占領シ海空軍ト協同  
シテ極力敵戦力ノ消耗ヲ圖リ機ヲ見テ主力ヲ機動集結  
シテ攻勢ニ轉ジ敵ヲ沖繩本島南半部ニ撃滅ス

第九師團ハ島尻郡ノ確保ニ任ス

獨立速射砲第七大隊ハ中隊ヲ伊江島地区隊ニ配屬シ  
主力ハ嘉手納ニ位置シ各守備隊ノ区域ニ陣地ヲ準備シ守  
備隊ノ數斗ニ協同ス

又假編獨立砲兵第百大隊ノ一中隊ハ嘉手納飛行場附近  
金武村及平安山附近ニ陣地ヲ準備ス

二中頭地区隊ハ担任地区沿岸地帯ニ陣地ヲ構築シテ敵  
ヲ欺瞞スルト共ニ担任地域内に在ル軍直轄及区署部

隊ヲ區署ニ防備ニ任セントス

三各守備隊ハ前任ヲ繼承スルト共ニ敵ニ欺瞞スルヲ特  
ニ地方防衛團住民等ヲ極力協力セシメ担任地域ノ沿岸  
地帯ニ陣地ヲ構築シ且沿岸ニアル樹木ヲ以テ海中ニ防  
材ヲ施設スベシ

之ガ完成ハ八月下旬ト予定ス

四各守備隊ハ高射火器ノ一部ヲ展開シ常時對空射撃  
ヲ爲シ得ルノ準備ニ在ラシムベシ